

# 佐野市景況レポート

平成30年10～12月期



佐野商工会議所  
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1  
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517  
HP <http://www.sanocci.or.jp>  
E-mail [s-cci@sanocci.or.jp](mailto:s-cci@sanocci.or.jp)  
調査協力：佐野市あそ商工会

## 《 概 況 》

### 業況やや改善するも、先行き不透明

#### 【平成30年10～12月期 実績】

全業種業況DI指数は▲16.1、前期（9月期）比+5.1ポイントの業況改善となりました。利益DI指数▲25.6（前期比+1.5）、売上高DI指数▲13.7（前期比+2.9）、原材料・仕入価格DI指数22.3（前期比▲7.3）、販売価格DI指数▲2.6（前期比▲1.6）と、原材料・仕入価格の指数低下が業況DI指数の改善に繋がりました。一方、労働力DI指数は▲32.5（前期比▲2.5）と過去最高の人不足感を再更新しました。

#### 【平成31年1～3月期 見通し】

全業種業況DI指数は▲12.6（前期比▲6.9）と、今後の3か月間は業況悪化を予想しています。売上高DI指数は▲10.0（前期比▲8.9）、仕入価格DI指数は18.0（前期▲6.4）、販売価格DI指数は▲1.6（前期比▲3.1）です。平成31年1～3月期の見通しは、売上高指数低下による業況悪化を予想しています。

#### 【事業所等の景況コメント他】

景況に関するコメントには、「人材不足・採用難」、「原油価格の下落」、「物価上昇」、「人件費上昇」「消費増税問題」などが挙げられました。総じて、見通しの立たない厳しい景況感の中、「ブラックフライデーの取組強化」、「ネット広告対応」など積極的な対応もみられます。

「幸福学」を研究されている慶應の前野教授は、人が幸せになるには4つの因子のバランスを高める必要があると説明しています。①「やってみよう」因子（自己実現・成長）、②「なんとかなる」因子（前向き・楽観）、③「ありのままに」因子（独立・自分らしさ）、④「ありがとう」因子（絆・感謝）。今年は、社員、ご自身の「幸せ」を検討されてはどうですか。

#### 【佐野市内における業況天気図】

	実 績（平成30年10～12月期）		見通し（平成31年1～3月期）	
業 況	▲16.1		▲12.6	
売 上 高	▲13.7		▲10.0	
販 売 価 格	▲2.6		▲1.6	
仕 入 価 格	22.3		18.0	
労 働 力	▲32.5		—	—

\*天気図の説明  
(数字はDI値)  
・仕入価格はDI値をマイナス評価

晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26以下

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清（中小企業診断士）

## ☆ 業況について（平成 30 年 10～12 月期実績）

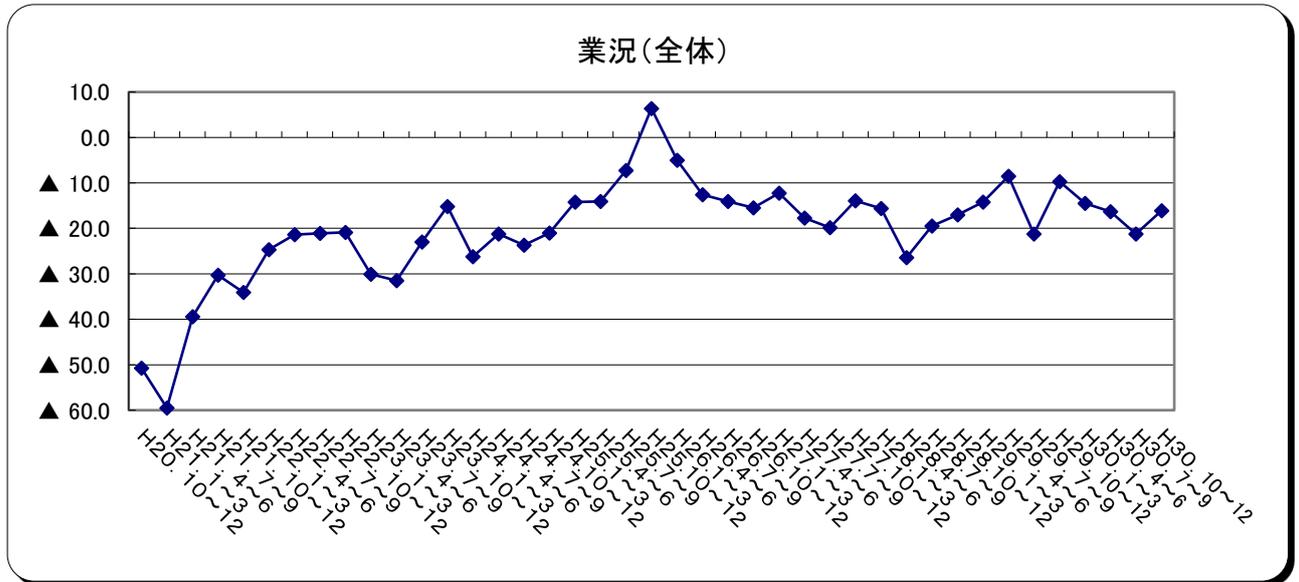


全業種 DI 指数▲16.1、前期比 5.1 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①機械・金属製造業 4.2 ポイント②化学・プラスチック製造業 0.0 ポイント、③卸売業 ▲10.3 ポイント、④その他の製造業及び小売業（飲・食料品） ▲12.0 ポイント

良い  
↑  
悪い



## ☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（平成 30 年 10～12 月期実績）

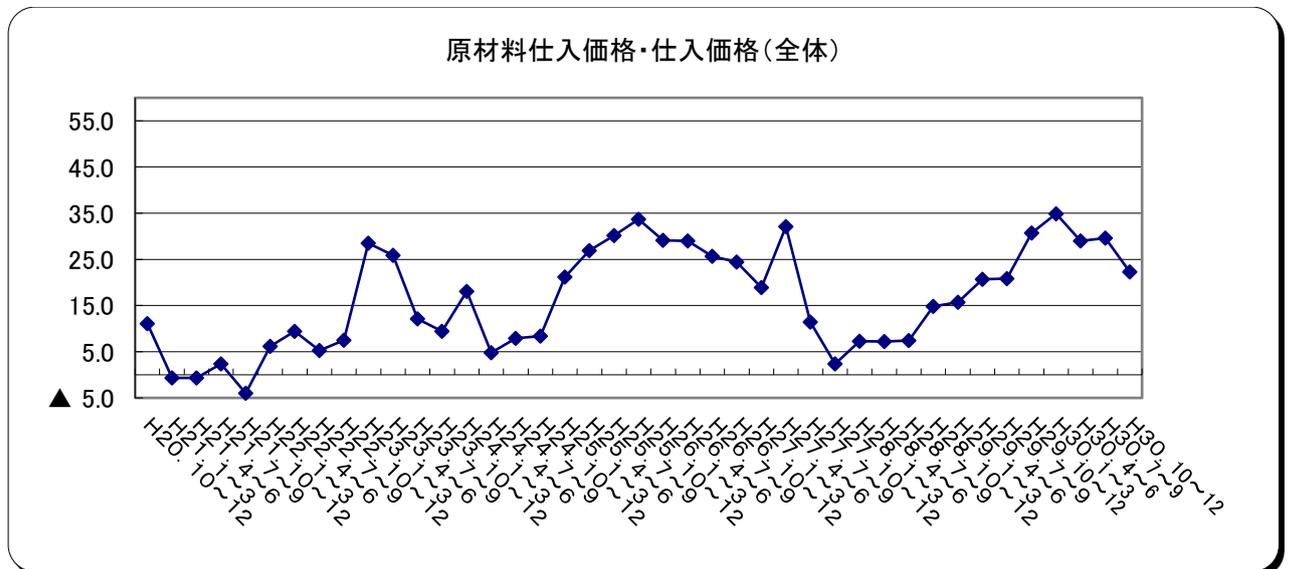


全業種 DI 指数 22.3、前期比 7.3 ポイント低下

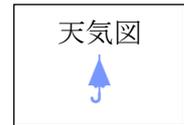
業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①化学・プラスチック製造業 40.5 ポイント、②小売業（飲・食料品） 39.1 ポイント、③飲食店 34.4 ポイント、④卸売業 33.3 ポイント、⑤建設業 22.0 ポイント

上昇  
↑  
下落



## ☆ 売上高について（平成 30 年 10～12 月期実績）

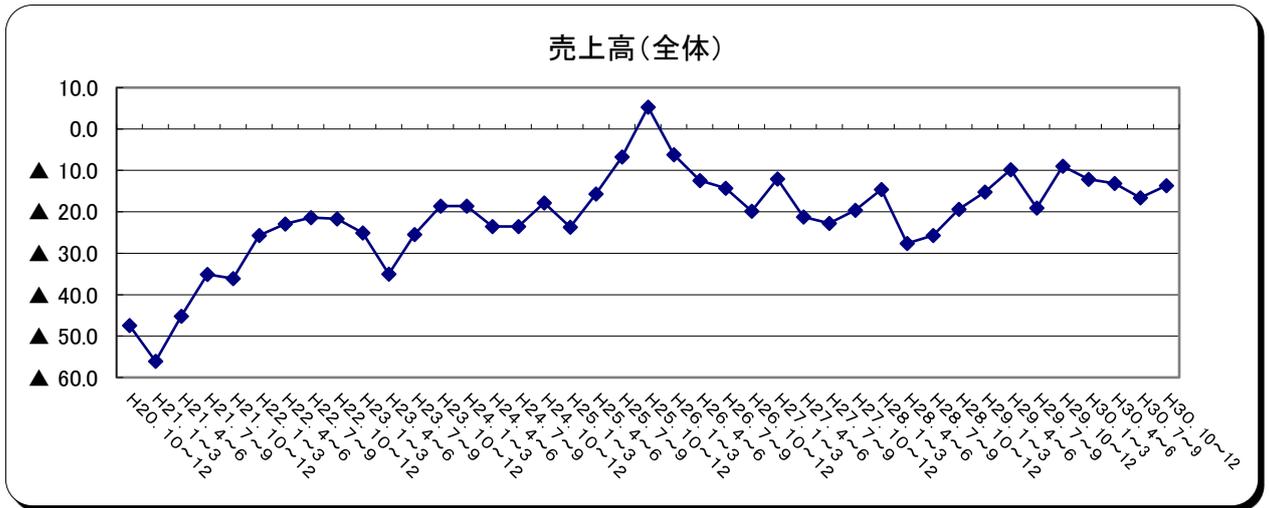


全業種 DI 指数▲13.7、前期比 2.9 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①化学・プラスチック製造業 16.7 ポイント、②機械・金属製造業 4.2 ポイント、③その他の製造業 0.0 ポイント、④繊維品製造業▲10.3 ポイント、⑤卸売業▲11.1 ポイント

増加  
↑  
減少  
↓



## ☆ 受注販売価格・商品販売価格について（平成 30 年 10～12 月期実績）

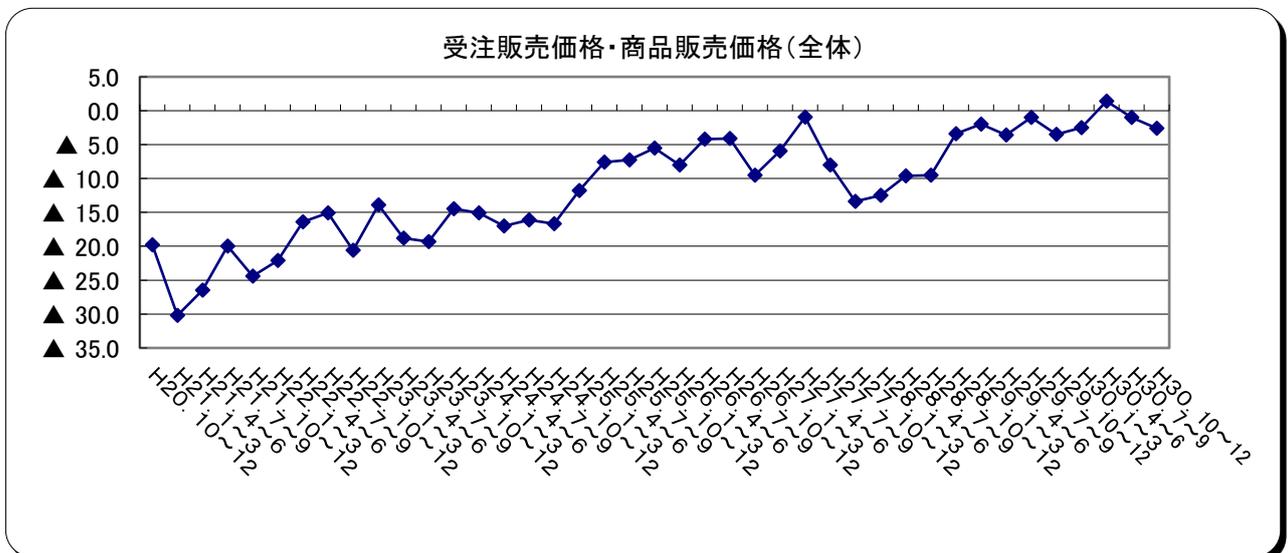


全業種 DI 指数▲2.6、前期比 1.6 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①その他の製造業 23.1 ポイント、②サービス業 6.1 ポイント、③化学・プラスチック製造業 3.7 ポイント、④食品製造業及び小売業（飲・食料品）0.0 ポイント

上昇  
↑  
下落  
↓



## ☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（平成30年10～12月期実績）

全業種DI指数 4.2、前期比 0.3ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

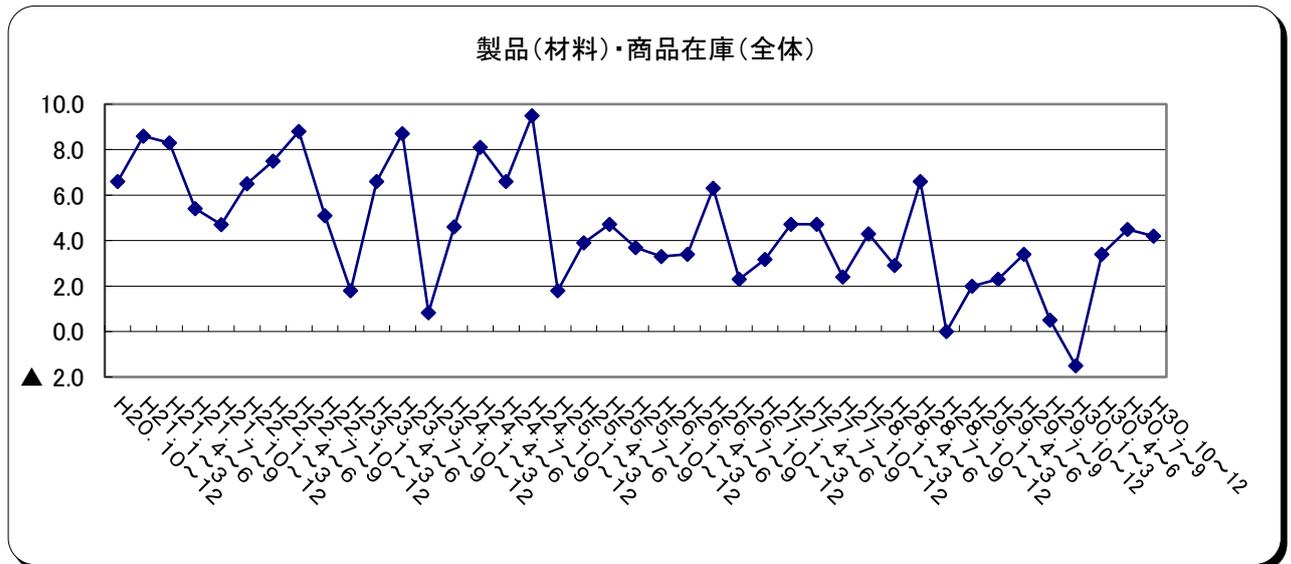
- ①化学・プラスチック製造業 27.3ポイント、②飲食店 18.8ポイント、③その他の製造業 12.0ポイント、④その他の小売業（大型店含む） 11.5ポイント、⑤機械・金属製造業 8.3ポイント



過大



不足

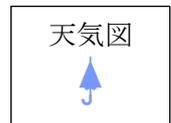


## ☆ 利益状況について（平成30年10～12月期実績）

全業種DI指数▲25.6、前期比 1.5ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

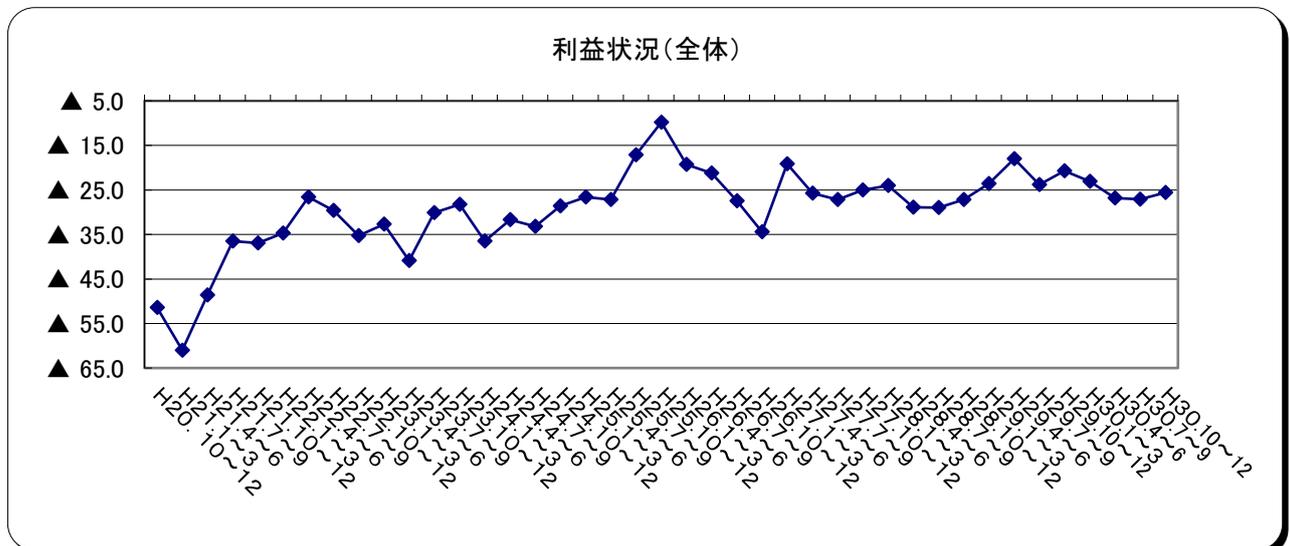
- ①その他の製造業 0.0ポイント、②機械・金属製造業▲4.2ポイント、③サービス業▲6.7ポイント、④化学・プラスチック製造業▲15.8ポイント、⑤繊維品製造業及び卸売業▲20.0ポイント



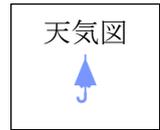
増加



減少



## ☆ 資金繰りについて（平成 30 年 10～12 月期実績）



全業種 DI 指数▲11.9、前期比 3.4 ポイント上昇  
業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①卸売業 42.9 ポイント、②小売業（飲・食料品）11.1 ポイント、③建設業 7.3 ポイント、④その他の製造業 0.0 ポイント、⑤設備業▲7.3 ポイント

楽  
↑  
↓  
苦しい



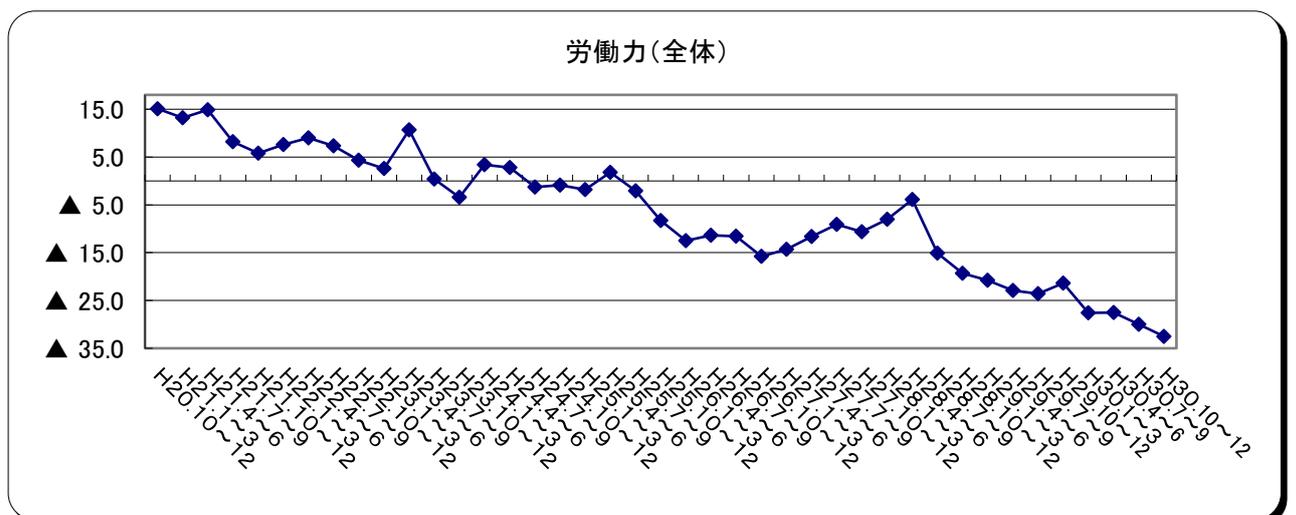
## ☆ 労働力について（平成 30 年 10～12 月期実績）



全業種 DI 指数▲32.5、前期比 2.5 ポイント低下  
業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①繊維品製造業▲9.7 ポイント、②卸売業▲11.1 ポイント、③化学・プラスチック製造業▲20.5 ポイント、④その他の製造業及び小売業（飲・食料品）▲23.1 ポイント、

過剰  
↑  
↓  
不足



☆ 設備稼働率について（平成 30 年 10～12 月期実績）  
（建設・設備・製造業関係）

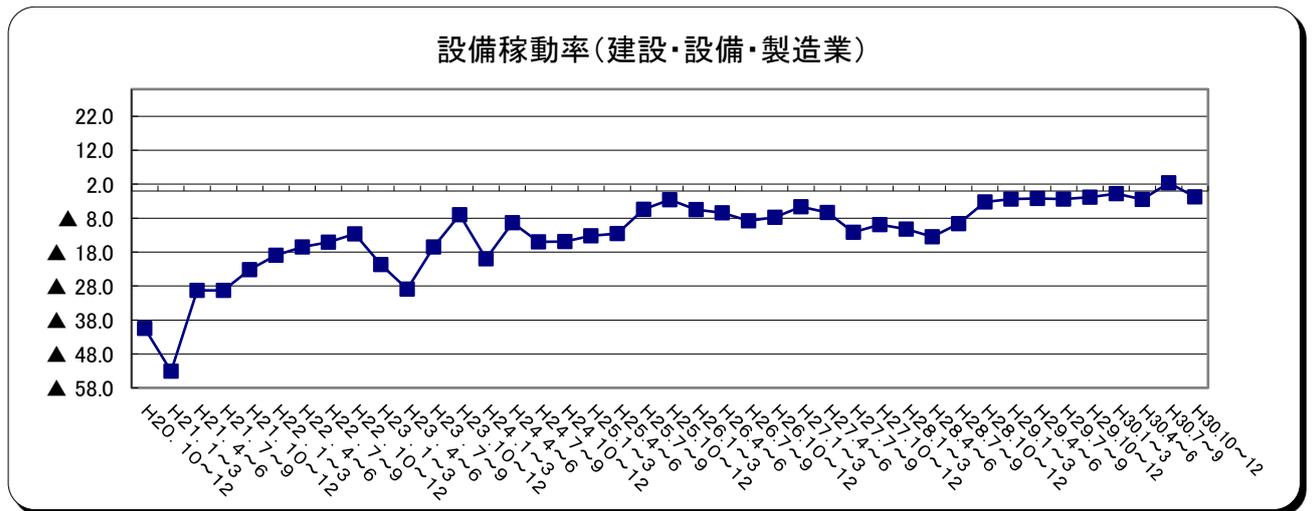


全業種 DI 指数▲1.7、前期比 4.1 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①化学・プラスチック製造業 11.7 ポイント、②機械・金属製造業 8.3 ポイント、③その他の製造業 0.0 ポイント、④繊維品製造業▲9.7 ポイント、⑤設備業▲13.0 ポイント

高い  
↑  
低い



☆ 販売経費について（平成 30 年 10～12 月期実績）  
（商業・サービス業関係）

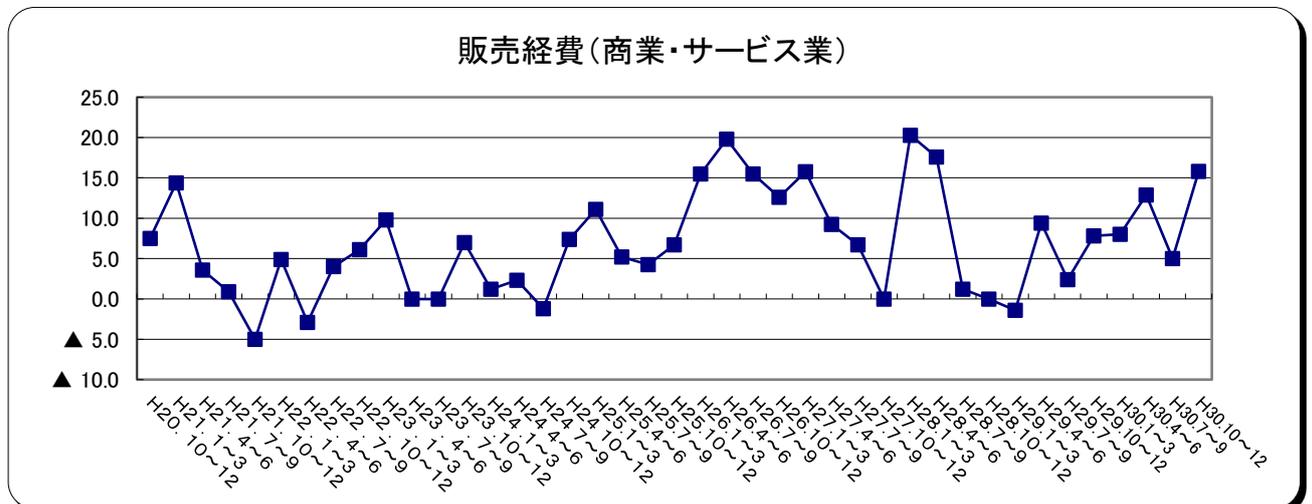


全業種 DI 指数 15.8、前期 10.8 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①飲食店 34.4 ポイント、②卸売業 31.0 ポイント、③サービス業 27.3 ポイント、④小売業（飲・食料品）23.1 ポイント、⑤その他の小売業（大型店含む）▲30.6 ポイント

増加  
↑  
減少



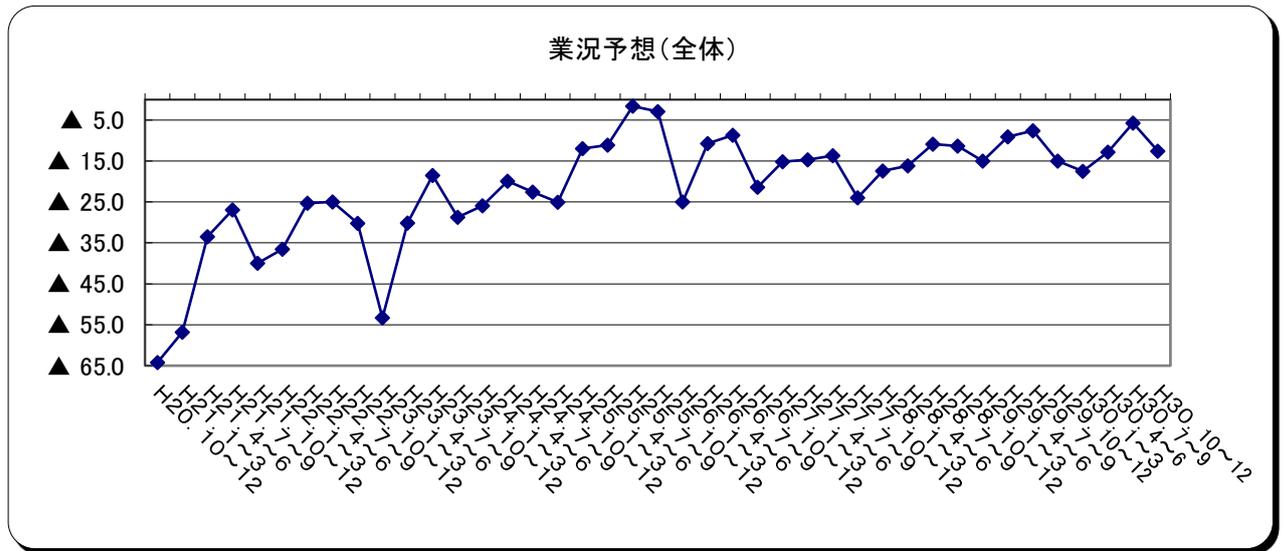
☆ 今後3ヶ月先（平成31年1～3月期の見通し）の業況について



全業種DI指数▲12.6、前期比6.9ポイント低下  
業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 11.1ポイント、②化学・プラスチック製造業 7.9ポイント、③飲食店 4.9ポイント、④機械・金属製造業▲4.1ポイント、⑤食品製造業▲11.1ポイント

良い  
↑  
↓  
悪い



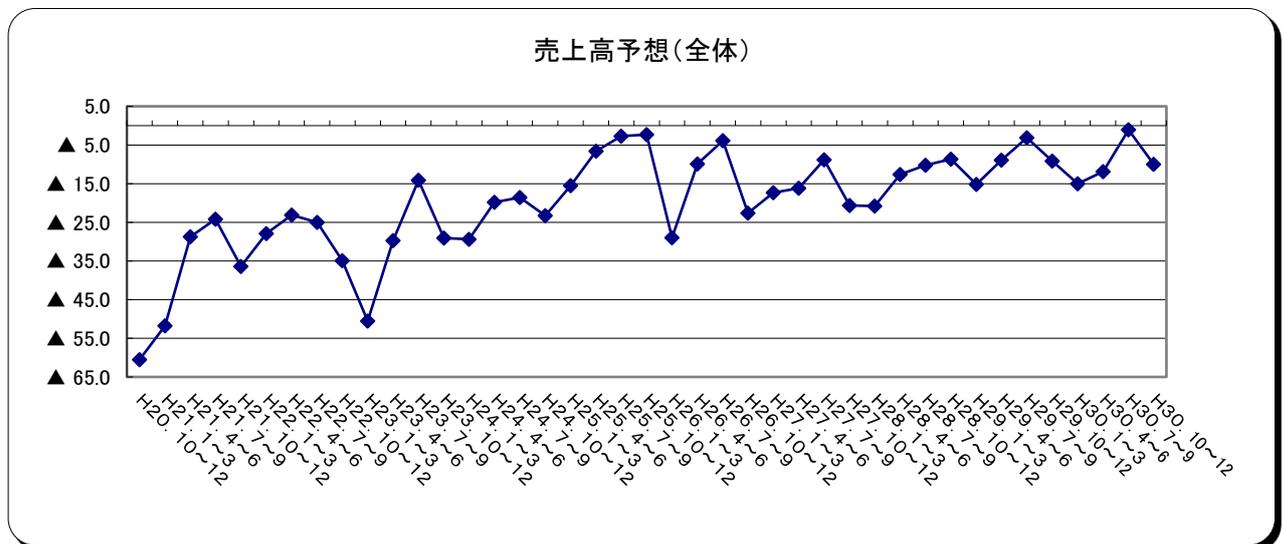
☆ 今後3ヶ月先（平成31年1～3月期の見通し）の売上高について



全業種DI指数▲10.0、前期比8.9ポイント低下  
業種別DI指数（上位5業種）

- ①化学・プラスチック製造業 24.3ポイント、②その他の製造業 11.1ポイント、③飲食店 0.0ポイント、④食品製造業▲5.9ポイント、⑤機械・金属製造業▲8.3ポイント

良い  
↑  
↓  
悪い



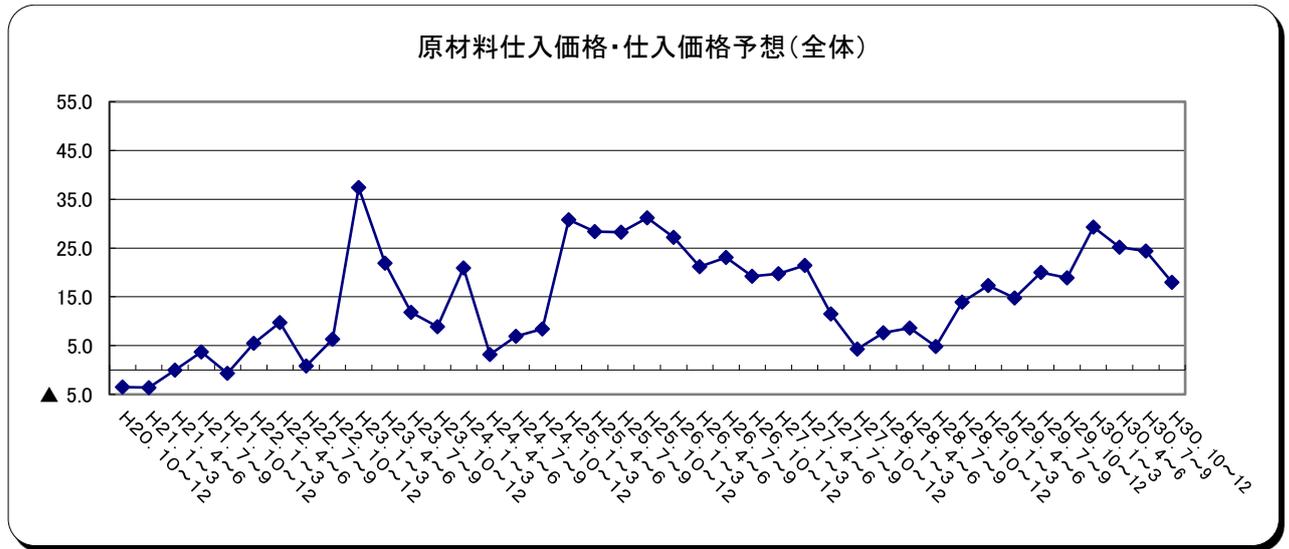
☆ 今後3ヶ月先（平成31年1～3月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について



全業種DI指数 18.0、前期比 6.4ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①繊維品製造業 55.6ポイント、②小売業（飲・食料品）36.0ポイント、③卸売業 33.3ポイント、④飲食店 30.0ポイント、⑤その他の製造業 23.1ポイント



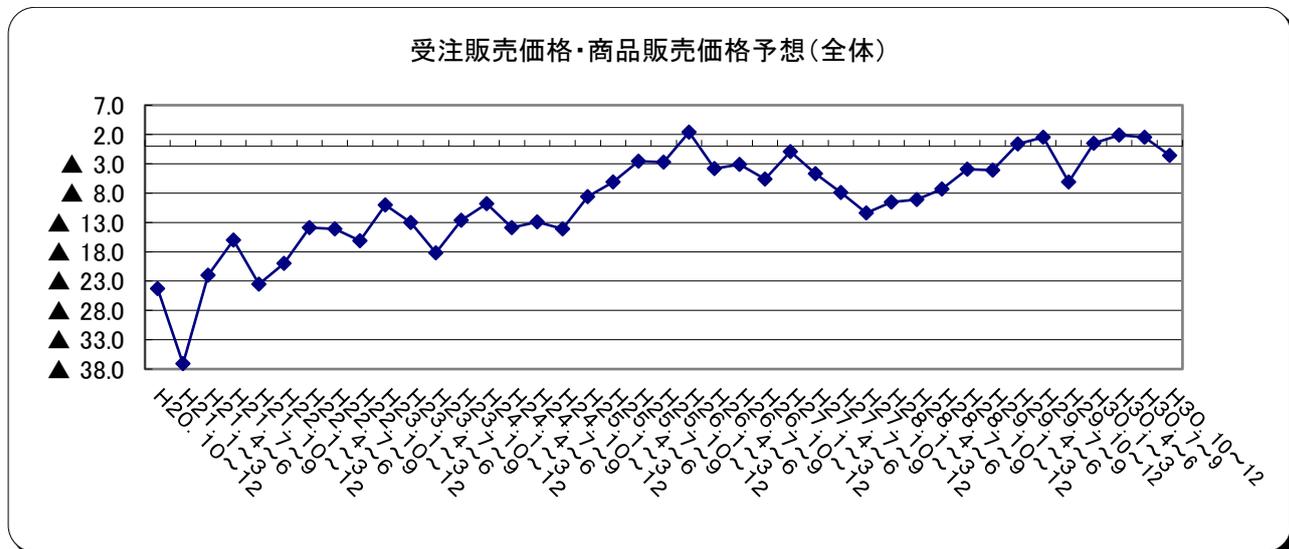
☆ 今後3ヶ月先（平成31年1～3月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について



全業種DI指数▲1.6、前期比 3.1ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①化学・プラスチック製造業 11.7ポイント、②小売業（飲・食料品）11.1ポイント、③サービス業 6.1ポイント、④飲食店 4.6ポイント、⑤設備業及び機械・金属製造業、その他の製造業 0.0ポイント



## ☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景況に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

### 建設業

- ・景気はよくないです！
- ・建設は官民ともに発注がない。

### 設備工事業

- ・人材不足です。

### 繊維品製造業

- ・資金繰りが厳しいです。

### 食品製造業

- ・なかなか厳しい状況ですが、来年は良い年になる様がんばります。製造の方が強化出来たので、受注を増加していかねばと思っています。
- ・消費増税反対です。政府も増税で景気が悪くなること想定してポイント還元や軽減税率するわけですから、増税しない事が一番の対策。景気が本当に良くなってから増税してもらいたい。
- ・いざなみに並んだなどと言われているが全く実感なし。人口減、労働力不足が今後増々影響してくると思われる。
- ・採用試験を経て入社するが、1ヵ月もたない人間が多い。会社の不備もあるのだろうが、求人の多さもあってか、仕事についても常に転職を考えているように感じる。2020年五輪後には現在の求人の流れがどのように変化していくか、それまで来年1年間は辛抱しなければいけないと覚悟しているが・・・

### 機械・金属製品製造業

- ・ゴーンさんのおかげで車関係の機械設備減少。
- ・消費税10%増税の件では、カード支払を推奨しているが、カードを持たない人や子供たちはどうすれば良いのか?? 小手先の事ばかり考えている。今の政権には飽き飽きです!!
- ・9月以降多くの商品が値上して来ている。今後客先にいかに転嫁出来るかが今後の当社の課題です。
- ・前回報告時と比較しますと、売価に仕入金額高騰分を転嫁した金額交渉の結果が出来始める傾向にあり、1月以降に僅かながらも期待感を持っています。
- ・いろいろあって今度はゴーンさん飽きないですね～。

### 化学・プラスチック製品製造業

- ・仕事の集中が始まってきている。かなりの動きがあるが、人員、設備、空間共に不足。拡張するかどうかの判断の時、先行の情報に気をつける。
- ・人件費UPがいたり、パートも800円→826円にかつてにあげるなど言いたい。
- ・米国と中国の通商問題の影響で、中国輸出向け製品(部品)が急ブレーキがかかりそう。
- ・下期に受注が多くなる傾向にあり、今後、少しずつ忙しくなっていく予定ですが、販売価格が下落傾向にあり、あまり多くの売上は望めない。
- ・原油価格が10月上旬より3割程度下落して来っており、来年2月以降のナフサ価格が下がる見込み(原料価格に反映)。
- ・プラスチック原料下落傾向。
- ・原油価格の高騰による原材料の値上げが始まった(プラスチック原材料メーカー)。

## その他製造業

- ・受注は、多品種少ロット、短納期に答える為、効率が悪く生産が上がらない。仕入れは原油価格が下がり、落ち着いている。休日出勤、残業等により人件費は上昇している。
- ・悲観的な話も多く、先きの予想がむずかしい。来年は少し下降する可能性が大きいように思われる。

## 卸売業

- ・あらゆる物品の価格が上昇していて、対応だけで手一杯の状況。
- ・10月～12月については売上高増加しています。毎年のことですが、この時期はいそがしいです。

## 小売業（飲・食料品）

- ・11月12月については例年売上は伸びる時ですが、今年は前年よりやや減少している。
- ・深耕営業で利益重視型で固定客、生涯雇用、囲いこみ戦略で、増収総益です。ネット等の価格競争にはまきこまれていません。

## その他の小売業（大型店含む）

- ・1月は福袋（プレミア付）の予約販売するため数字はまとまるが、2～3月は減少してくる毎年くりかえしです。
- ・気温が高いこともあり、衣料品、冬物中心に苦戦傾向。11月末実施の「ブラックフライデー」は新しいセールスポイントに成長していきそうです。次年度もしっかり取り組んでいきたい。
- ・顧客の減少によります。

## 飲食店

- ・正月をしっかりとかせぎたいです。
- ・不景気。
- ・食堂の店売りと出前に対する消費税のあり方が軽卒すぎる。今後の出前には出前料という新値を付加したい。

## サービス業

- ・ここ1年で資材は2～3度値上りしました。直接はお客様と接する当社も年明けには値上げをします。
- ・決してよくはないので、各社の工夫により明暗が分かれると感じています。インターネット広告に比重を置き、お客様のニーズをとらえることが、大切と考えます。
- ・写真 DPE 業種は増々業況が悪くなります。
- ・鉄骨資材不足により、計画がストップしてしまう物件が多く、先が解らなくなって来た。

## 佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 平成30年10月～12月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施し、180社（回答率62.1%）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

### (1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

### (2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

### (3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

### 3 分析方法[景況動向指数（DI）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

DI方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合せ先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511



佐野商工会議所